

1 事業導入の背景

- 既存発電施設の改築更新を見据え、より効果的な消化ガスの活用手法について検討
- 国が定める再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT制度)を活用して、発電電力の売電に取組む
- 民設民営方式により民間事業者のノウハウを最大限活用する。
- 事業から得る収入により下水道事業の新たな財源を確保する。

2 消化ガス発電事業の仕組み

● before



● after



4 スケジュール

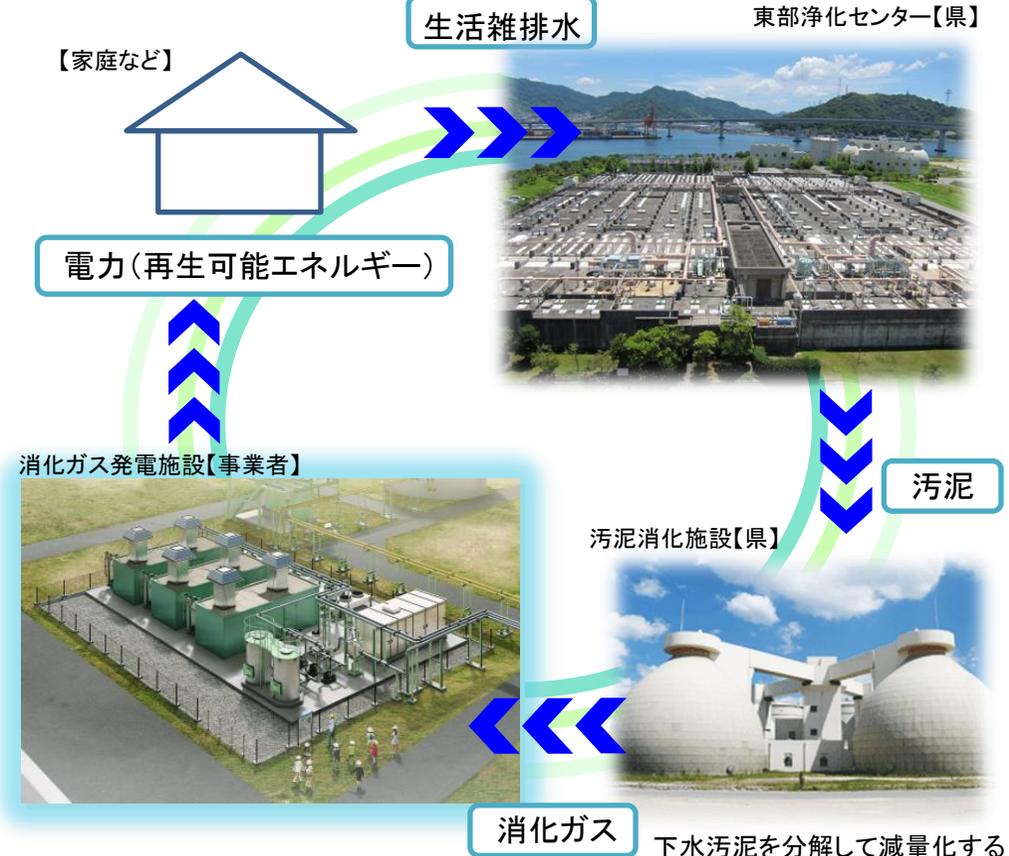
年度	H29	H30	H31~H50	H51
県	事業者選定 (公募型プロポーザル)		消化ガス売却	
事業者	FIT事業認定取得	発電施設の設計・建設	維持管理・運営 (消化ガス買取・売電) (固定価格買取期間20年間)	施設撤去

◎事業契約締結(県及び事業者)

3 事業の効果

- 下水道バイオマスの有効利用による地球温暖化防止に貢献

○CO2削減量約4,100t/年(発電量約630万kWh/年)



- 下水道事業の新たな財源の確保

- 消化ガスの売却により約30億円/20年間の収入
- 維持管理費に充当し、安定した下水道経営に寄与